

市民Web公開講座

視聴
無料



動画
配信

がん診療の最前線

東広島医療センターでは、毎年「市民公開講座」を開催し、最新の「がん治療」に関する情報を皆さまにお届けしておりました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、オンラインによる動画配信の形式で開催いたします。



公開日 2021年3月12日(金) 12:00~ ~ 3月26日(金) ~17:00

<https://hmc-forum2021.com>

院長挨拶



東広島医療センター
院長
勇木 清

第16回東広島医療センターフォーラムの開催にあたりご挨拶申し上げます。毎年継続して行ってきた本会は、昨年度新型コロナウイルス感染症対応のため急遽中止となりました。本年はがん診療の最前線を市民ウェブ公開講座として何とか開催することができ、改めて関連各機関、関係者の方々に感謝申し上げます。現在がん診療には分子標的治療などの個別化治療、免疫療法、低侵襲局所療法、画像診断・遺伝子診断の進歩など大きな変化と今後の展望が見られています。またがんは日本人の最大の死因ではありますが、長期間戦える病気となってきています。本会を通して現場で行われている治療などの実際と病気の理解を深めて頂き、皆様のお役に立てればと思います。

ミニレクチャー



東広島医療センター
統括診療部長
柴田 諭
シンポジウム
コーディネーター

今回のミニレクチャーは、「女性のがん」をテーマにいたしました。乳がんと子宮がんについて、最新の診断・治療について、それぞれ当院の専門の医師からお話をさせていただきます。また、治療の進歩とともにがん治療と生活や就労の両立が大切になりますが、治療費や生活支援の制度について、医療社会事業専門員からお話をさせていただきます。



東広島医療センター
外科部長
貞本 誠治

「当院の乳がん生存率全国8位、マンモトーム生検を含む診断治療例、経過観察について」
2019年9月の報道で、当院は喜ばしい事に、乳がん生存率全国8位と記載されました。その内容をデータなど含め紹介します。また、早期乳がん発見に必要なマンモトーム生検について説明します。そして、乳がん診断治療例を、手術前の薬物療法に関して、具体的に説明します。さらに、乳がん経過観察について、他のがんとの比較を解説します。



東広島医療センター
産婦人科医師
仙波 恵樹

「子宮頸がんの予防・早期発見 ~最新のトピックスとともに~」
我が国の子宮頸がんは年間約10000人に発症し、約2800人が死亡しています。特に近年、若年層で頸がんの罹患率、死亡率が増加傾向にあり、女性の命、ライフスタイルを脅かす疾患として深刻な問題となっています。今回、子宮頸がんの予防に関して最新のトピックスを交えてお話しさせていただきます。



東広島医療センター
医療社会事業専門員
太刀掛 ひろみ

「治療費と生活の支援制度」
がんと診断され、治療が始まると、病気のこと以外にもさまざまな心配が生じることがあります。本日は、治療費に関する制度や生活を支援する制度についてお話しさせていただきます。

ポスター

地域がん診療連携拠点病院である、東広島医療センターで行っている、がん診療と患者さんを支える様々な取り組みについて、ポスターを作成いたしましたので、ぜひご覧ください。

※配布ポスターに記載の内容から変更がございます。内容は主催者の都合により変更する場合がございます。

【お問合せ先】



地域がん診療連携拠点病院 / 地域医療支援病院 / 広島県災害拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院 / 臨床研修病院指定 / 地域産褥期母子医療センター

独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

TEL (082)423-2176 FAX (082)422-4675

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地

<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>

後援 東広島市、東広島地区医師会、広島中央地域保健対策協議会

